ガンベリ公園、春たけなわ

アフガニスタンやイランの暦では、春分の日が元日でイーデ・ノウローズ（新年の祝日）として祝われる。3 月 21 日、今年は多数の市民がガンベリ記念公園やカマ堰、ミラーン堰などの PMS 施設に集まり、盛大なお祝いとなった。特にカマ堰は立錐の余地なく、多くの者が、家族連れで訪れたのも新しい傾向だ。それだけ、PMS の施設が知られるようになったことと共に、作業地での治安の安定と人々の平和への願望を印象づけた。ジャララバードだけでなく、カブール、ヘラート、バーミヤンなど遠隔地からの市民も目立った。

ガンベリ公園は 2 週間後にバラが満開となる。

（撮影；ジア先生）

新緑の用水路
樹々の芽吹き

3 月初旬から用水路沿いのヤナギが一斉に芽吹き始め、3 月下旬には輝くような新緑が出そろう。やや遅れてクワの木が葉を広げ、半月遅れでシーシャムが続く。

この頃はクナール河の増水が始まり、次第に泥土を含む濁流となっていく。既に夏を思わせる強烈な陽光が注ぎ、新緑を鮮やかに浮き立たせる。

3 月中に植樹数は 100 万本を達成、その 60%がヤナギだ。

（2019 年 3 月 28 日、ミラーン堰水路）

FAO・アフガン事務所長来訪

4 月 1 日、FAO（国連食糧農業機関）アフガン事務所の新所長が来訪、ミラーン訓練所、カマ堰、PMS ガンベリ農場らを見学した。新所長はネパールの方で、特に環境問題に造詣が深く、温暖化による干ばつの危機に強い関心を抱いている。写真はミラーン訓練所の教室で、山田堰の模型と共に。

2019 年 4 月 1 日

植樹数 100 万本を達成

カチャラ（マルワリードⅡ）堰流域は今冬、記録的な植樹が行われた。

取水口から用水路 5.5 ㎞全線、護岸線 7 ㎞まで、柳枝工や樹林帯の造成などで数万本のヤナギ、シーシャム、ユーカリなどの植樹が行われ、総計すれば 5 万本を超える。

この結果、PMS が 2003 年から行ってきた植樹は 100 万本を超えた。最も多いのがヤナギで 62 万本、次いでガズ 14 万、ユーカリ 13 万、シーシャムは 2 万本だが次第に数を増している。

写真はマルワリードⅡ、約 2 ㎞地点。背景はケシュマンド山脈の白雪。2019 年 3 月 28 日

植樹、100 万本を達成

カチャラ堰流域、護岸工事が急ピッチ

FAO（国連食糧農業機関）アフガン所長来訪

クナール河増水が始まる

現地は春たけなわ、新緑が目に痛い季節となりました。2 週間後にはガンベリ記念公園でバラが満開、春の美がピークに達します。

現在 PMS の工事は、カチャラ堰（マルワリードⅡのことです。マルワリード堰と紛らわしいのでこの名称をここでは使います。）流域の護岸に主力を置き、ガンベリ・シギ排水路の工事を同時に進めています。カチャラ堰流域は 2010 年の大洪水で大被害が発生した場所で、死者行方不明多数、多くの村人が離村、地域が一挙に荒廃しています。第一期工事（2016 年 10 月～2018 年 9 月）で安定灌漑を実現したものの、最大の仕上げが洪水対策と見て、仕事が続けられています。

既に最も浸食が激しかった護岸 3～7 ㎞地点は水制工による根固めが完了し、現在かさ上げ工事が行われています。同時に大掛かりな植樹が行われて、用水路沿いの柳枝工、護岸沿いの樹林帯の植樹が一段落しています。このため、2003 年からの植樹数は、3 月で 100 万本を達成、現在内訳の集計をしています。

今年に入ってから全アフガニスタンで大きな降雨が断続的にあり、北部は豪雪で数百名の死者が出るほどでした。このため、干ばつは一時遠のいたものの、今度は融雪による洪水発生が心配されています。何れにしても、安定灌漑の重要性は変わらず、PMS 取水方式の普及活動にも熱が入り始めています。4 月 1 日には FAO アフガン所長が来訪し、共にラグマン州の知事を訪れ、新たな灌漑計画を勧めるほどになっています。

ガンベリ排水路・シギ分枝は 650ｍまで試験掘削を進め、一斉に貯留水が引き始めたのを確認、いよいよ工事が本格的となります。約 1.9 ㎞の完成は今年 12 月と見ています。今冬は、昨年鉄砲水で寸断されたマルワリード用水路の改修を続けながら、同堰の大改修が予定されているので、気を抜かず着実に進めて参ります。

2019 年 4 月 1 日　記

カマ第一堰で見るクナール河の増水。前日の流域の降雨で水位が 0.3m上昇、そのまま濁流は消えず、夏の気配となった。2019 年 3 月 30 日

高所から見るカマ第一堰の全貌。増水期前　2019 年 2 月 22 日　職員撮影

同下流側高所より見る。砂州をはさむ河道 2 に水量の約 25%が迂回し、堰にかかる負荷を軽くしている。堰上流・岩盤の水衝部からの流れが、土砂吐と洪水吐の二手に分かれて分散しているのが分かる。堰と砂州との接合部は浅く、浸蝕は考えられない。2019 年 2 月 25 日　職員撮影